



2025年5月吉日

<報道関係各位>

arts in hearts
TOYOTA

大阪府医師会フィルハーモニー
大阪地区トヨタ販売店
トヨタ自動車株式会社

SDGsをテーマに、音楽と優しい触れ合いを
第1928回 トヨタコミュニティコンサート
大阪府医師会フィルハーモニー 第54回定期演奏会

日時：2025年7月13日(日) 午後2時 開演

会場：ザ・シンフォニーホール

～開催およびご取材のご案内～

このコンサートは、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）と各地のトヨタ販売会社グループおよびアマチュアオーケストラが協力して実施される『トヨタコミュニティコンサート』として開催され、今回で1928回目になります。40周年を迎えた2021年度より、トヨタがミッションとして掲げる「幸せの量産」の実現に向けて、全ての公演において音楽を通じた「SDGs」を重点テーマに取り組んでいます。

イタリアオペラが主流で、ドイツものは陰をひそめていた時代、モーツァルトの手法を継承し、劇的・叙事的表現を画期的に進歩させた本格的なドイツオペラを書きあげた「ロマン派の先駆け」に位置するウェーバー。第一次世界大戦後、ロマン派からの脱却を目指し、新即物主義を推進し、20世紀ドイツを代表する作曲家として同時代の音楽家に強い影響を与えたヒンデミット。ベートーヴェンが珍しく自作にタイトルを付した標題音楽の先駆けをなすものと見られ、徹底した動機展開による統一的な楽曲構成法が秀逸な交響曲第6番。共通点として、それぞれの作曲家が当時の音楽文化を革新的に変えていった作品であり、本格的なドイツ物で、ウィーンの風を感じる統一感のあるプログラムだと自負しています。

今回の選曲にあたり**指揮者の高谷光信氏**に相談したところ「祈りのプログラム」とおっしゃいました。高谷氏はウクライナでの活動期間も長く、音楽を通して活発にウクライナへの支援をされています。氏が「祈りのプログラム」とおっしゃったように、大阪府医師会フィルハーモニーだからこそ込められる「祈り」を音楽で伝えたいと思います。



(指揮の高谷氏と第53回定期演奏会の様子)



大阪府医師会フィルハーモニーではこれまでもSDGsについて取り組んでまいりましたが、今回も**視覚障害者の方々に点字プログラムをご用意**、また**生活に困っておられる家庭が多い地区にある小学校の児童を、ご家族を含めてご招待**予定です。

演奏会では「TSURUMI どもホスピス」の啓蒙活動と募金活動を行っております。公的資金に頼らない日本で唯一の施設の、一般市民への認知広報活動と募金活動を継続的に行なっていきたく思います。

【このリリースに関するお問い合わせは下記までお願いします】

大阪府医師会フィルハーモニー 岩佐 厚 TEL:090-9114-0989
トヨタカローラ南海(株) 販売企画課 鎌倉 洋 TEL:072-261-8895

当コンサートを、貴媒体にて「イベント情報」としてご紹介いただければ幸いです。

取材賜ります場合は、恐れ入りますが事前に上記までご連絡ください。